彼氏の前で他の
男を受け入れた
アヤミ・・・背徳感に
快感を見出し始め
それを必死に
抑え込もうとする
艶がり村
(つやがりむら)
そんなアヤミの
性欲を開花させ
ようと女看守の
魔の手が迫る・・・
トリッキー

艶がり村
「つやがりむら」
四

－あらすじ－
秘境好きの彼氏を
サポートするために
艶がり村へ同行
したアヤミ

しかし村は教祖と
呼ばれる老人によって
支配されており
アヤミは教祖と
快感の共有の呪いを
受けてしまう

逃がさないわよ
包茎君？

・・・・

君には特別な
牢に入って
もらいたいの

私の父と
一緒に・・ね！

囚われていた
彼氏のナオトは
機転により牢から
抜け出したが
そこに女看守が
立ちはだかっていた

さぁ逃げられないわよホーケイ君？

・・・・

教祖様を殴った罰として・・・・

彼女を渡して大人しく牢にブチこまれなさい！

⁉

何⁉

上へ行った…?

ザッ

……

ダッ

・・・・

ハァ

ハァ

ゴォォォォォ

弱気になるな！
飛ぶんだアヤミ！
!!

・・・・

だ・・大丈夫か？
アヤミ・・・・
立てるか？

へ・・平気

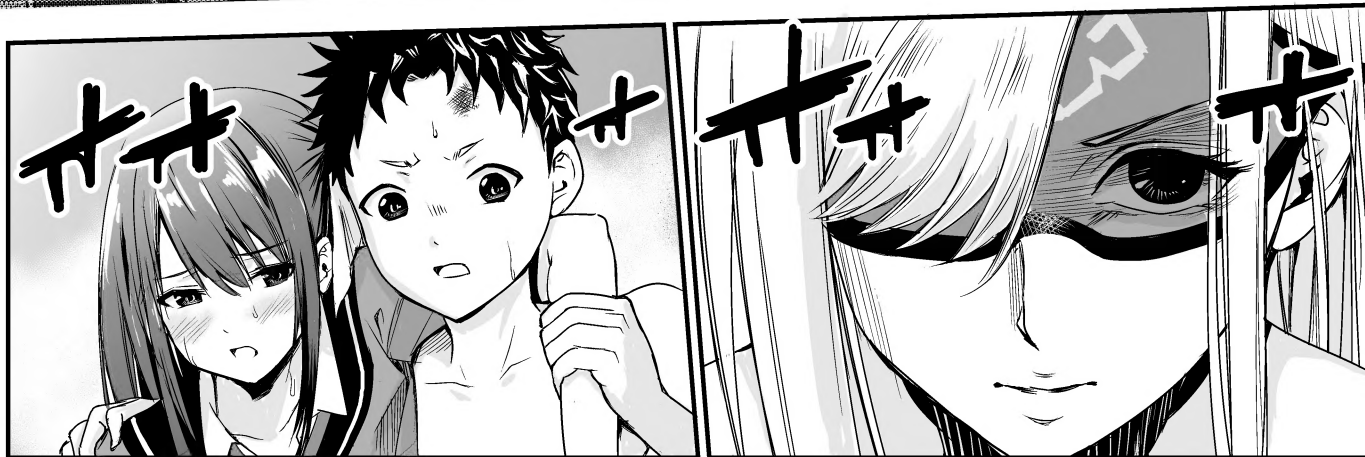
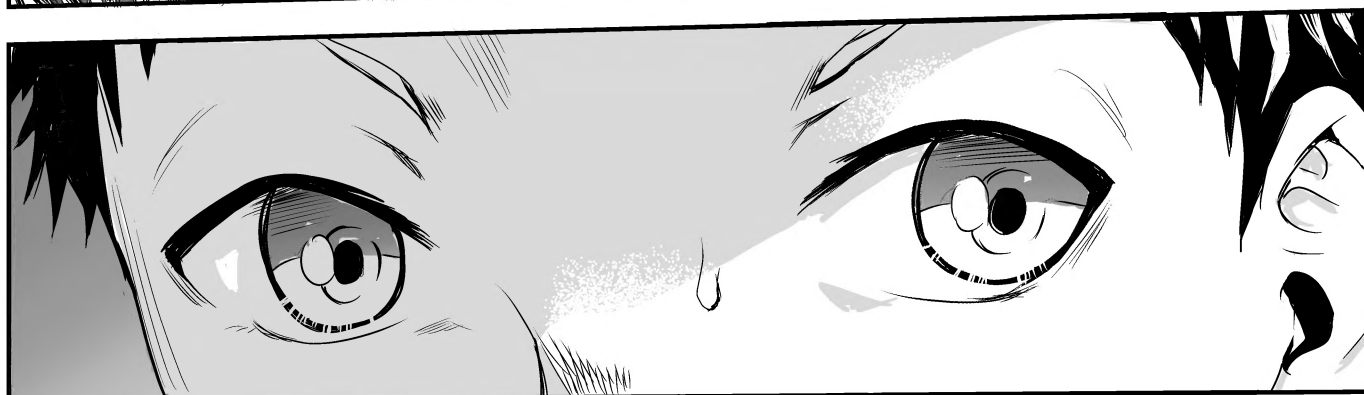
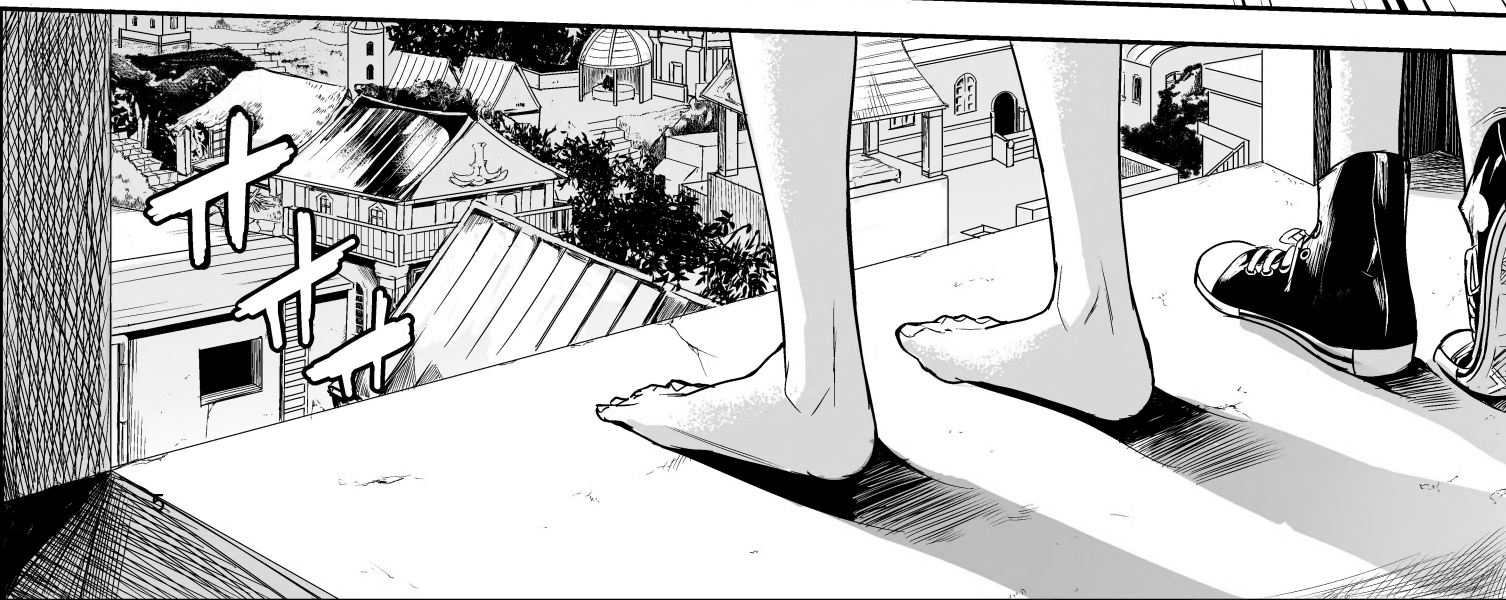
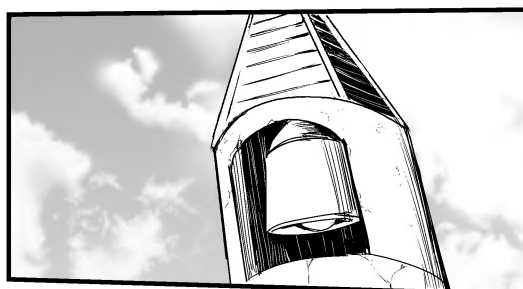
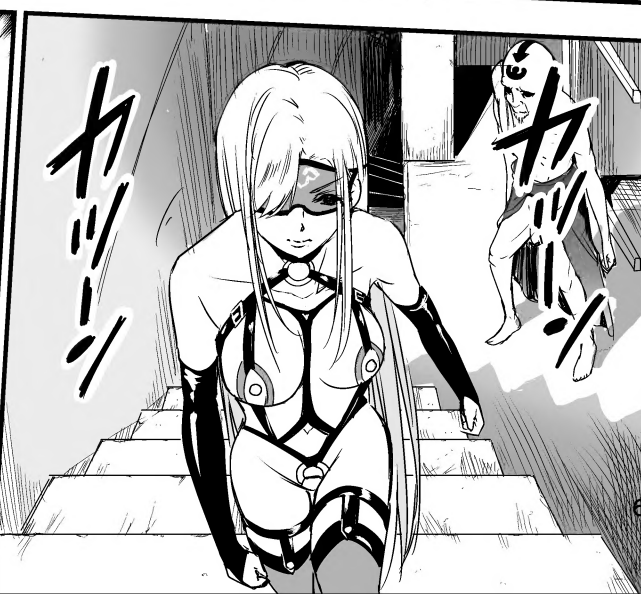
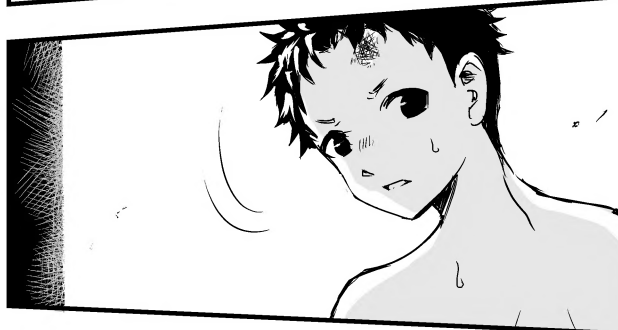
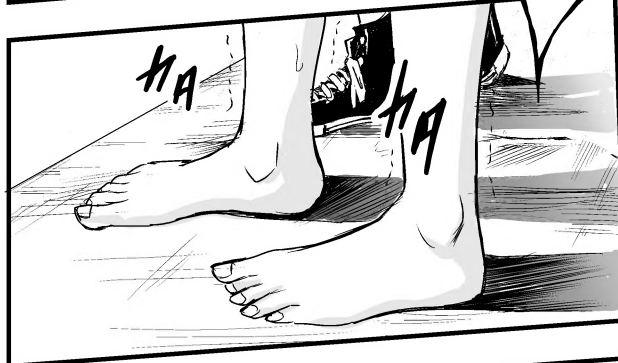
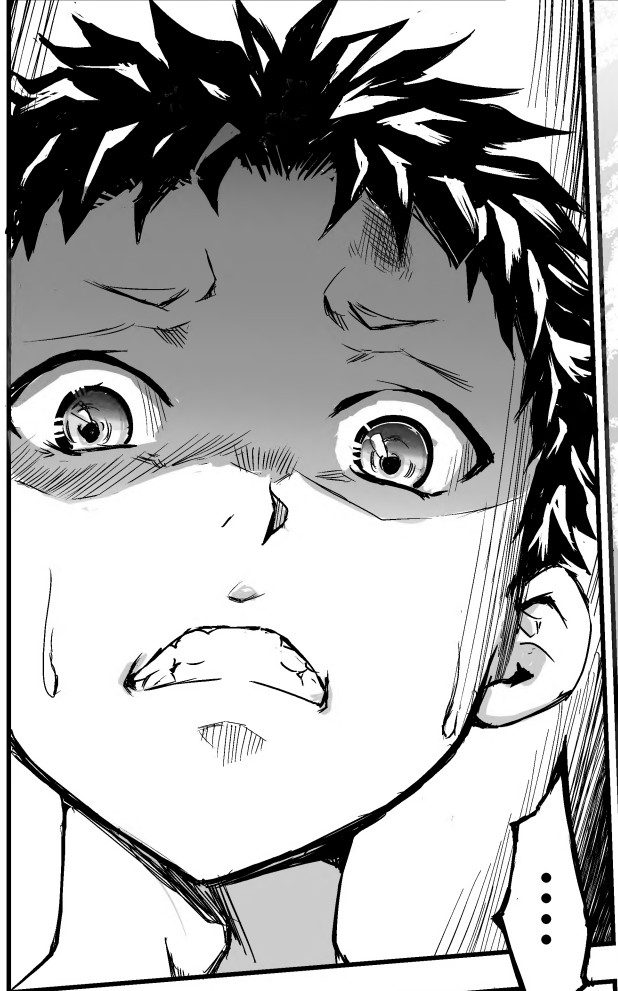
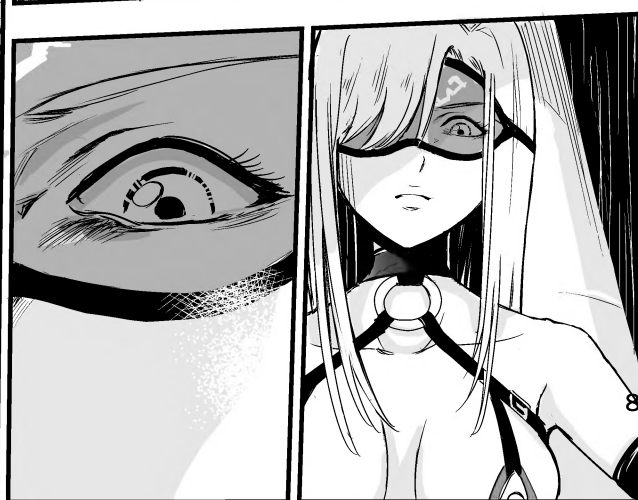
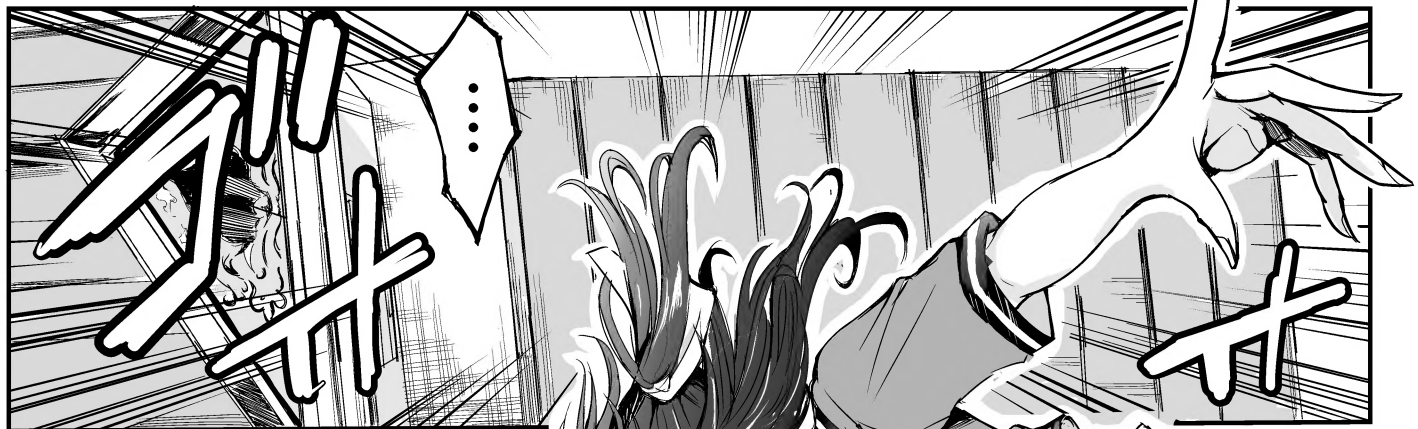
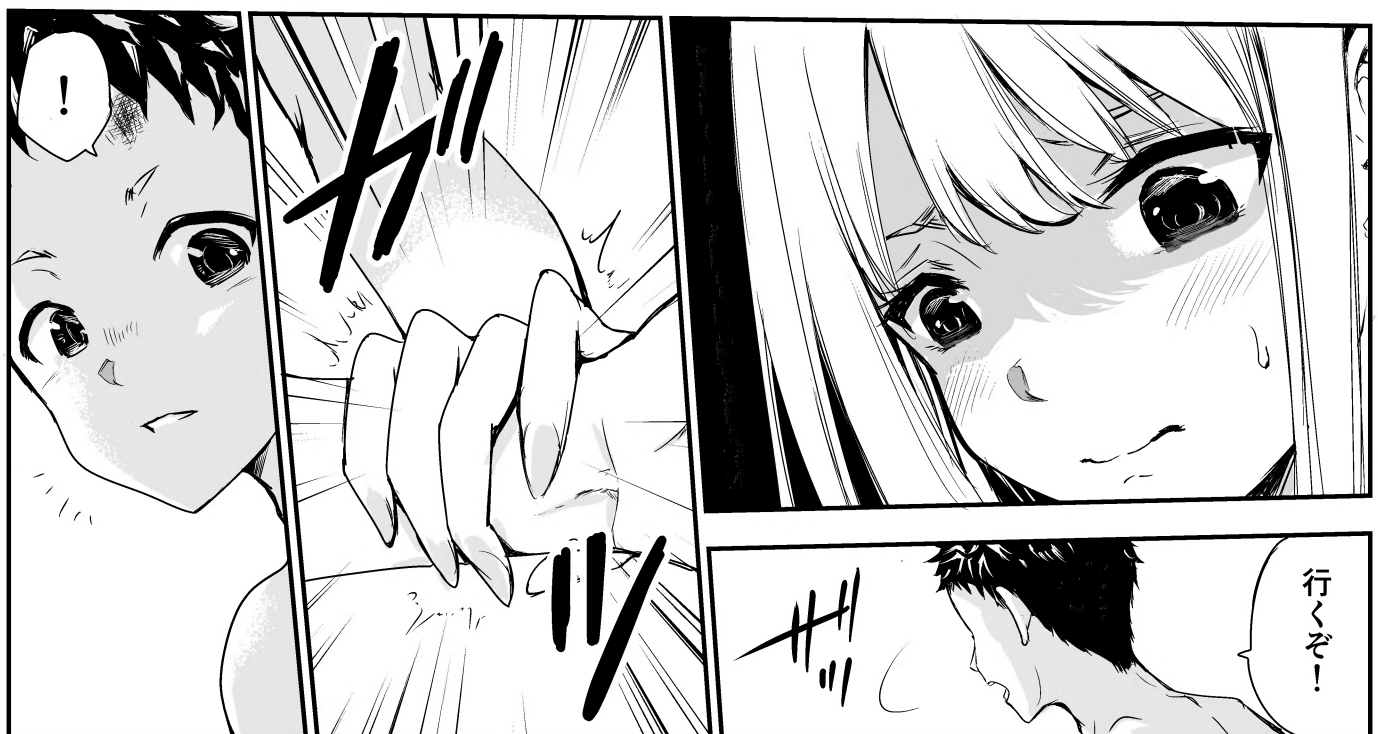
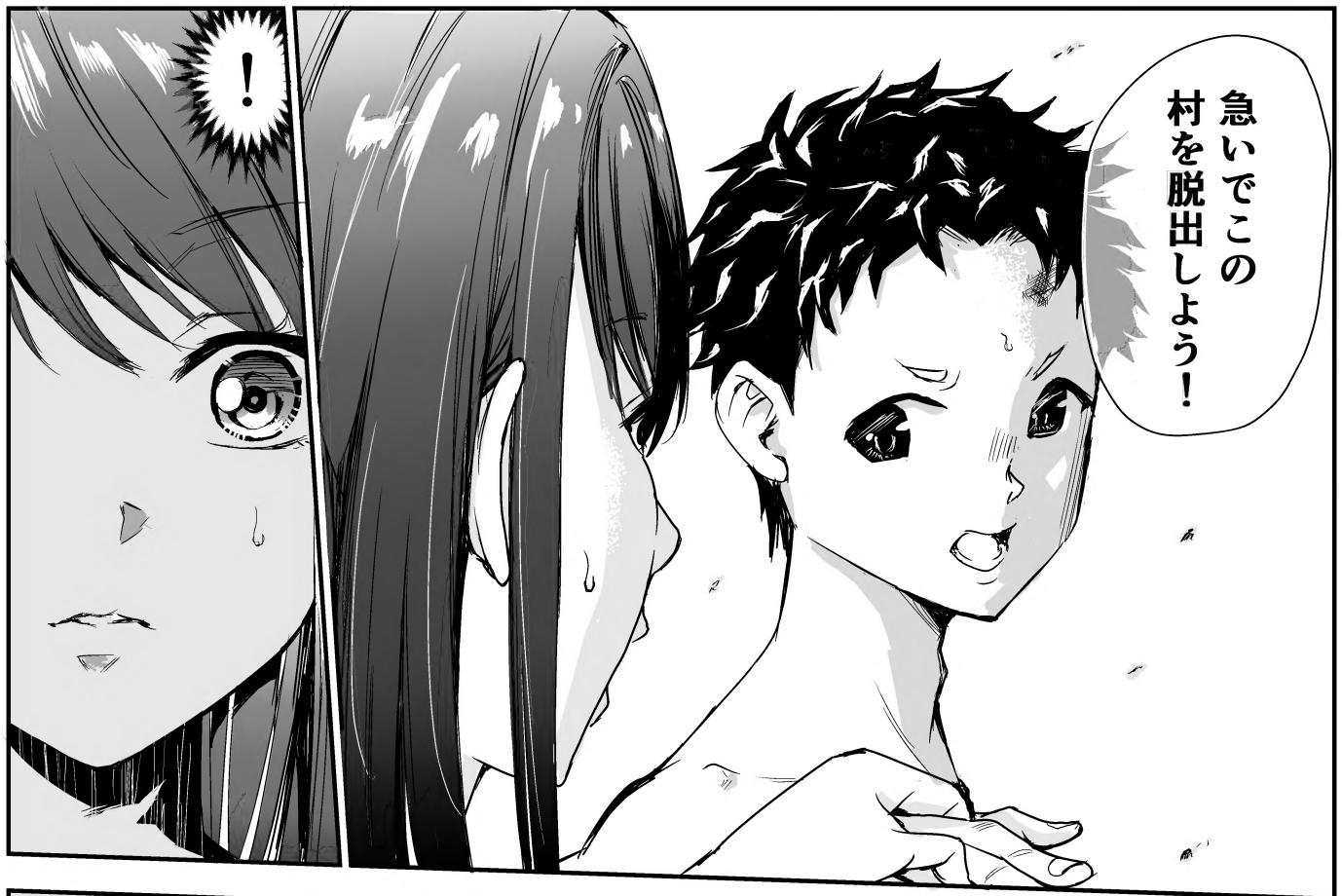
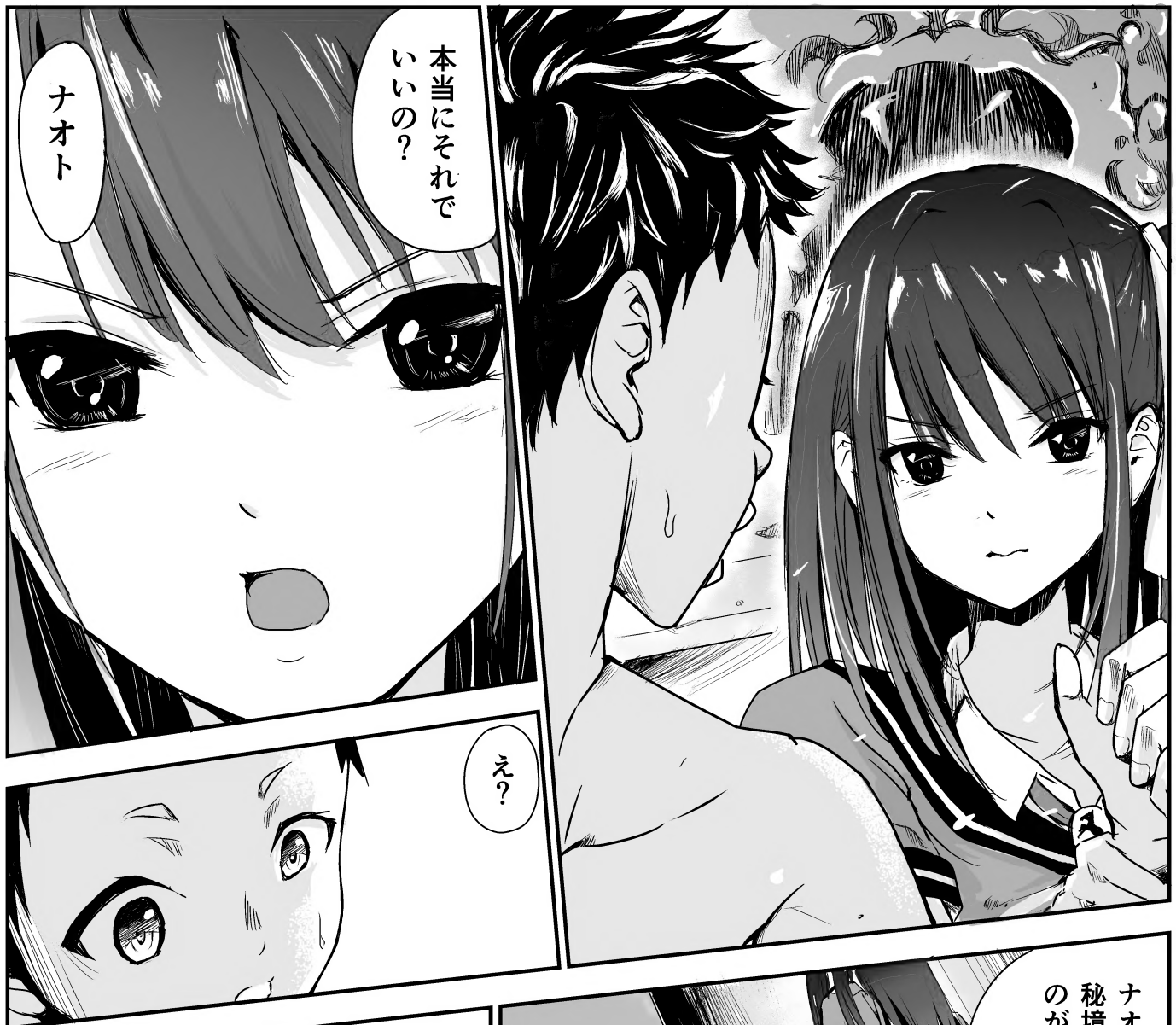
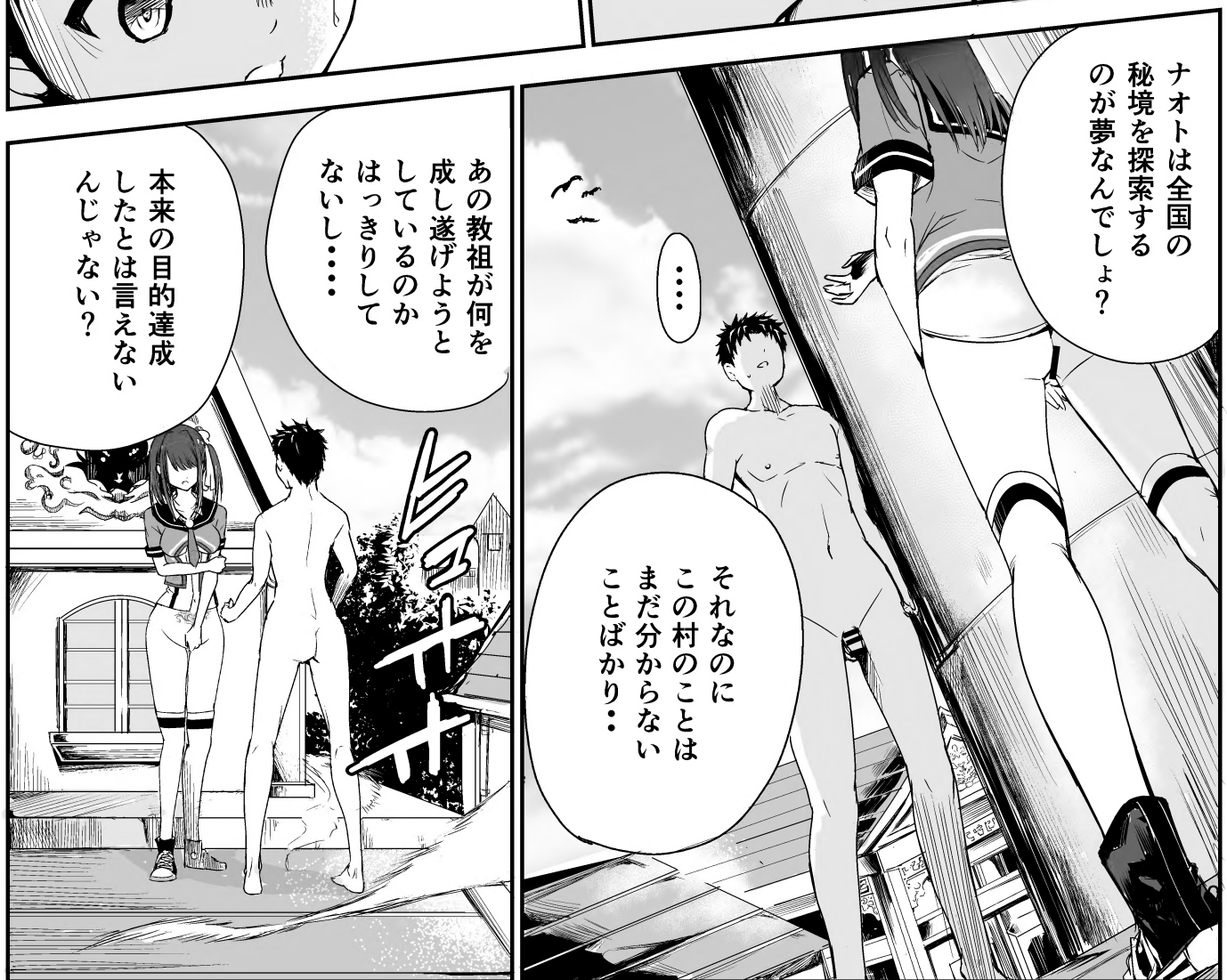
イチチ・・

それよりも
・・・・

ああ・・
分かってる！

!
急いでこの村を脱出しよう!

これ以上アヤミを巻き込むわけには行かない!
ケータイも取られ助けも呼べないなら・・
今しかないんだ!
・・・・

!
行くぞ!

本当にそれでいいの？
ナオト
え？
ナオトは全国の秘境を探索するのが夢なんでしょ？
…
それなのにこの村のことはまだ分からないことばかり・・
あの教祖が何を成し遂げようとしているのかはっきりしてないし・・・・
本来の目的達成したとは言えないんじゃない？

私に無い物を
持っていたから

アシスト
したいと思えた
・・それが・・・

私の役目
だと思ってる

それにこのまま
逃げ延びたと
しても・・・
私は・・・
身体の呪いが
解けない・・・

4日間も・・
いつ襲ってくるか
分からない
快感に・・・
抗える自信が
無い・・・・

さ・・さっき
も私・・・・・
ナオトの前で
・・・とんでも
ないことを・・

分かったよ
ポン
アヤミがそこまで言うなら成し遂げよう
・・・・・
本来の目的を・・・！
あのジジイをとっつかまえて全て聞き出してやる
俺たちは逃げない！
何があっても・・
俺のパートナーはアヤミだけだから
そしてアヤミの呪いも解除させる！
ギュウウウ

ビクン
!
クイィ
チュク
?
ムズ
ムズ
あ・・・あああぁ
ぁぁあぁ・・・ぁ・・・
ゾク
ゾク
い・・・
いやぁぁぁぁあ
ゾク
また・・・
また来たぁぁ

ど・・どうしたんだよアヤミ？
来ないで！
ダッ
！
ガクガク
ガクガク
ガクガク
ハァ
ハァ
……
ギリッ

……
なっ
!
カチャ
おっおい
アヤミ…?
どうしたんだよ!
開けてくれよ!
ご…ごめん
…ナオト…

これ以上・・
ナオトの前で
恥ずかしい姿を
見せたくない
ゾク
ゾク
ダン
ダン
私が私でなく
なっちゃう
この膣内を
かき回されてる
ような感覚が・・
子宮がうずいて
またおかしな
言い出すかも
しれない
!
ザ
な・・・っ

フフフ・・・♪

ギュ

ギュ

・・・・

あ・・あんたは
さっきの・・・

どうしたの？
全然力が入って
ないわよ？

ギチ

そんな抵抗
じゃあ・・

グ

ッ・・・！

ギチィッ

ググ・・グ
ビク
グ・・
な・・・っ
カァァァァ
ちょ・・何なのよ・・・これ
ほ・・ほどいてよ・・・!
フフフ
ムズ
ムズ
ムズ

ドロォ・・
ブピュ

あらあら
教祖様の精液が
溢れてきてるわよ？
いやらしい
ー
えっ
う・・嘘⁉

よっぽどあの時
いっぱい出して
もらったのね？
羨ましいわぁ
い・・いやぁ
あぁぁぁ

シコ
シコ
・・・・

い・・いやぁぁぁぁ
シコシコしてるぅー!
ぅあっ・・・?
やっ・・やめてぇ
激しくしないでぇ
ぇー!!
ジワァ
あぁ・・・
ダメ・・・
・・ダメ・・・
縛られながら
こんなの・・
も・・もう・・・
我慢が・・・・
あああああ

ビクッ
ビクッ
ニュル

フフっ・・何も触ってないのに
とってもエッチにイッちゃうのね？アヤミちゃんって

ね・・ねぇお願い目を覚まして？
！

あなたのお父さん・・あの塔に捕えられてるんでしょ？
・・・・
登ってくる時に見たの

格子の隙間から
だけど男同士で
エッチしてる光景を
そしてその時
見た男の目元が
どこかあなたと
似ていた・・・
あなたはお腹に
紋様も無いし・・
ねぇ協力しない？
教祖を身動き
出来ないよう
縛り上げて・・
お父さんを
解放しよう？
お父さんを
人質に取られ
・・・
教祖の言いなり
になってるだけ
なんでしょ？
そして一緒に
この村から
脱出しようよ！

ヒッ・・・
バババババ
アッ

ジリ
ジリ
ヒッ
⁉
ヒイッ
ギン
あんたは大きな勘違いをしている
チンカス親父を閉じ込めたのは私・・・！
・・・
偉大な教祖様を牢に閉じ込めた罰としてね・・・！
ブル
ブル
ブル

この村を快楽に染め上げるために・・・・

ビギ

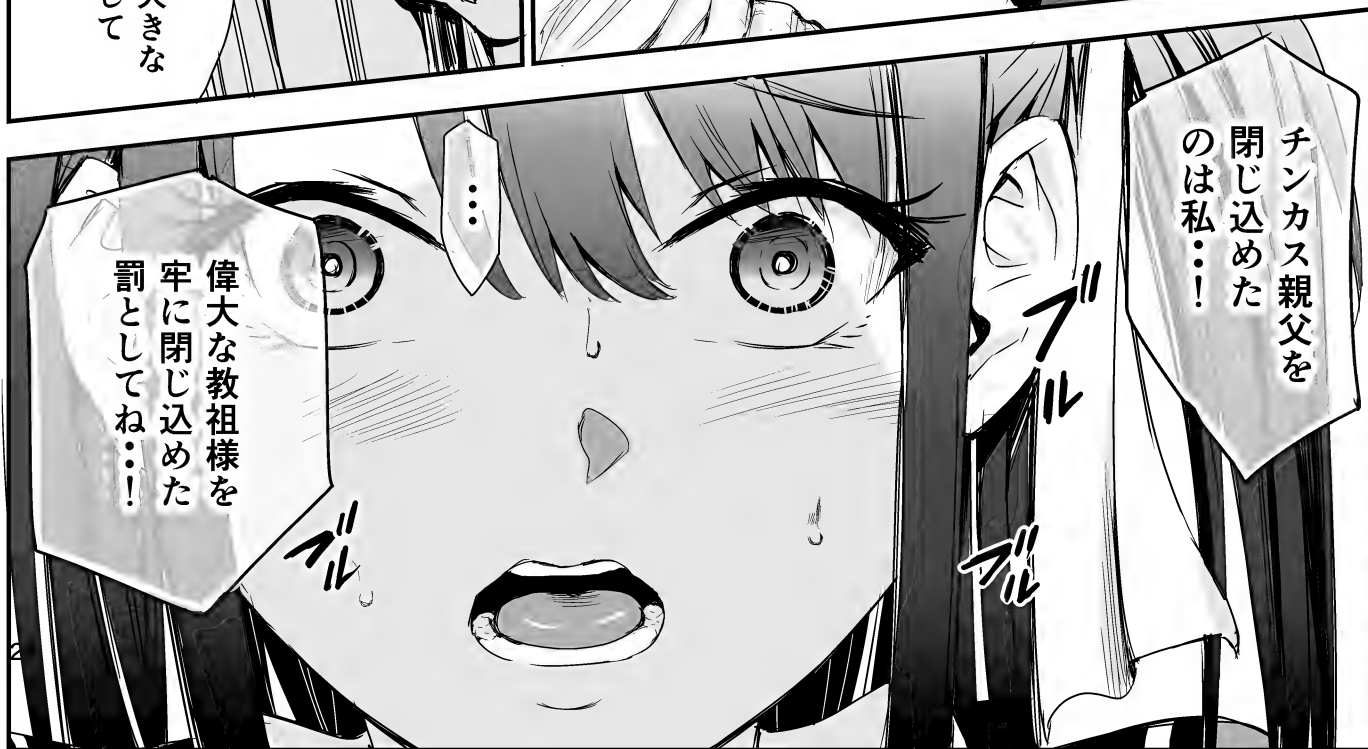
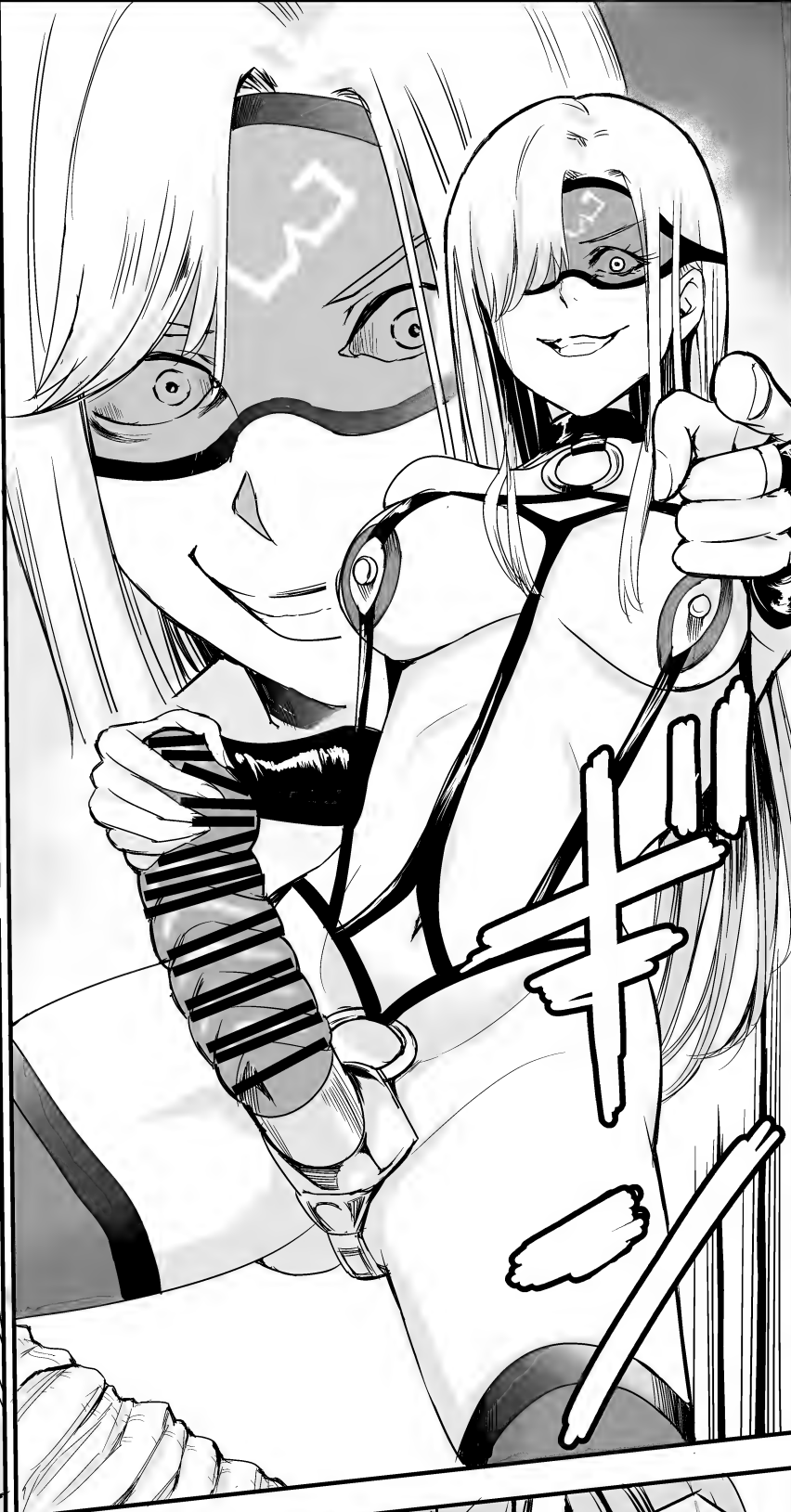
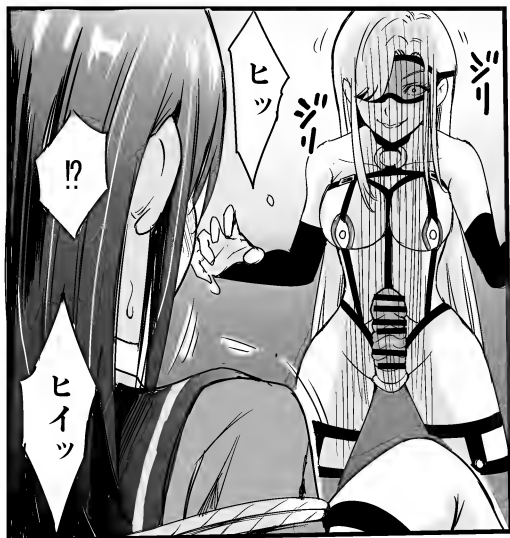
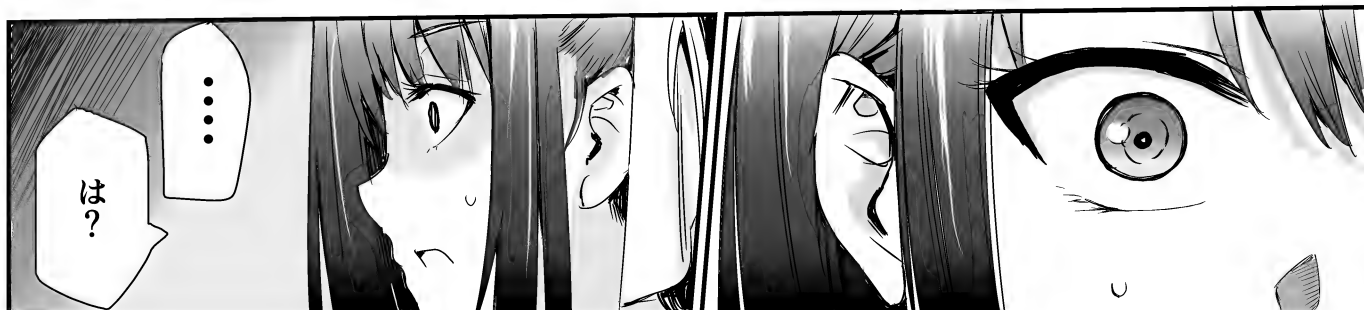
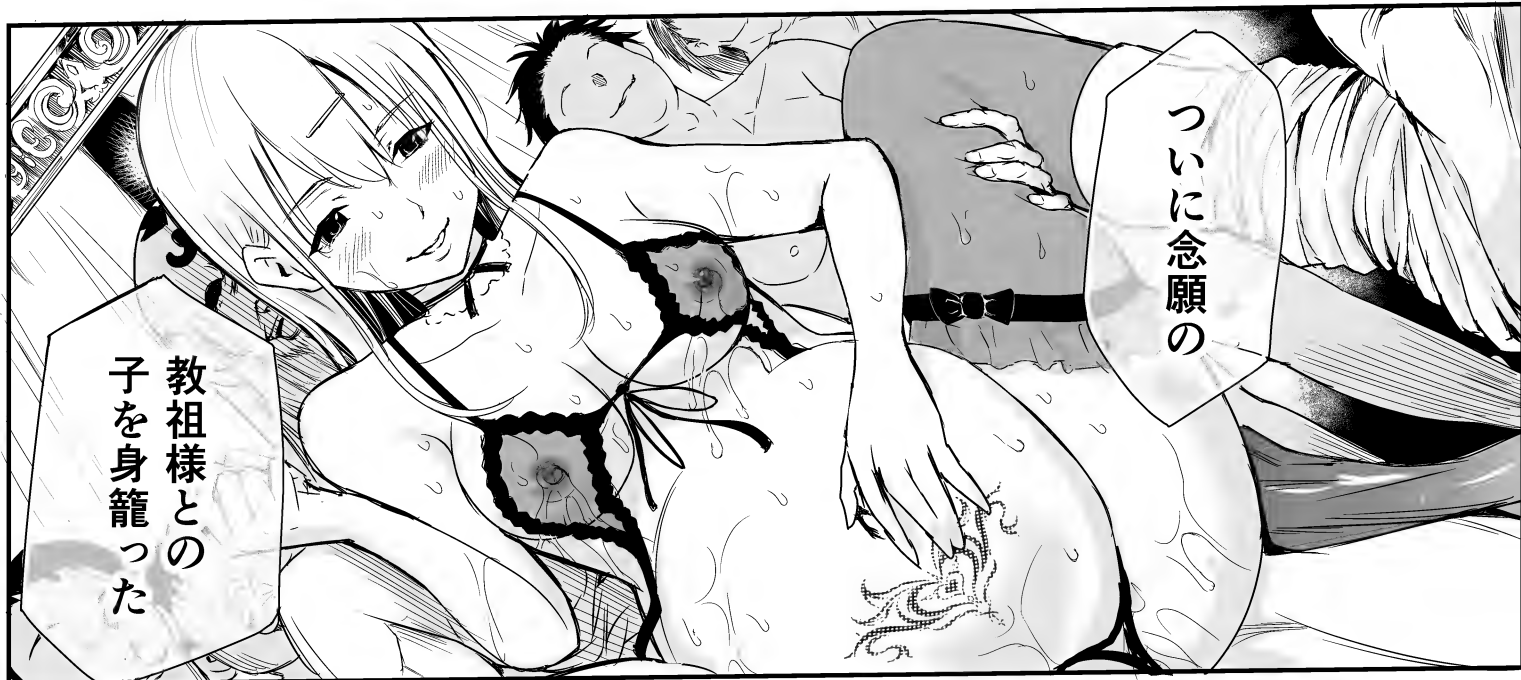
絶大な快楽を与えてくれる教祖様のために

ビギ

ズサザ

教祖様を牢から出したのも私・・

そして愚かな父に思い知らせようとひたすらエッチを繰り返し・・・・

私は・・

嘘・・・教祖は孕ませづらいはず・・・なのに？
ズイ
見せつけてやったわ・・・父の前で
教祖様との子を産むところを
でも折角産み落としたその子は・・・・
その日の内に息を引き取った
教祖様は珍しく悲しんで下さったわ
ムリだと思っていた受精が可能と分かったぶん余計にね・・・
孕ませることに執着し出したのはその事があってから
ヤッ
イヤ
再び身籠らせるために身体の相性が抜群の相手を探し続けた
そして見つけたのが・・・

ズ
ズヌッ
あなたなのよ
アヤミちゃん！

はっあ
はっ
はっ
サワァ
サワァ
ゾクッ
あン
あっ
あっ

あぁ…何これ…
女の子同士なのに
…私…
ゾク
ゾクッ
ゾク
鳥肌立つぐらい
気持ちイイ……
ジワジワ攻めて
くる感じ……
身体の芯から
ゾクゾクしてくる
……
ゾクゥ
ゾク
ニィィ…
私のことは抱いて
くれなくなったけど
…それでもいい
フフ…
教祖様の成そうと
していることを
支えることが
グイ
今の私の
…喜び！
ギチ

うあぁぁっやぁぁ・・・ン♡

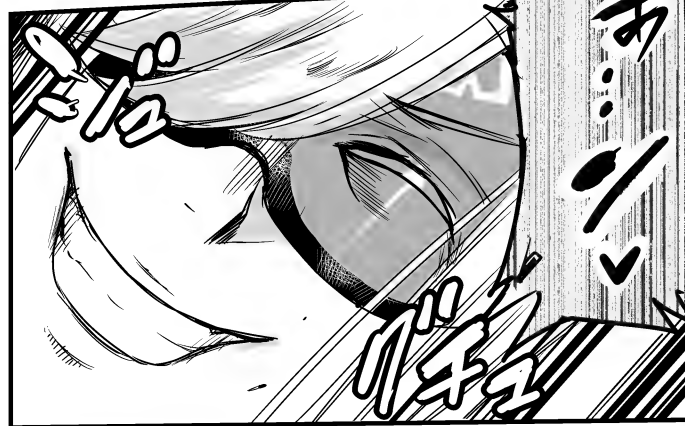
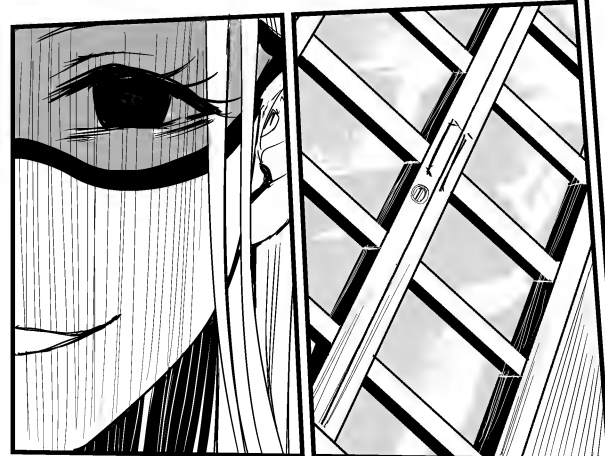
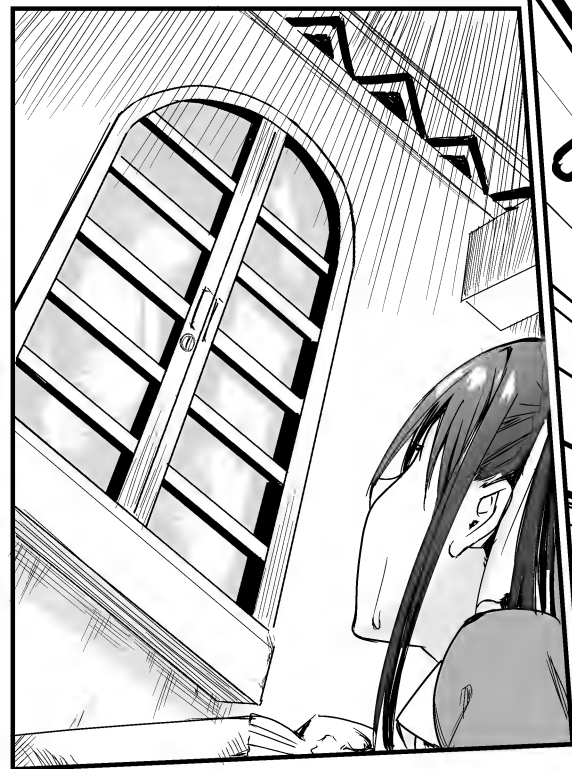
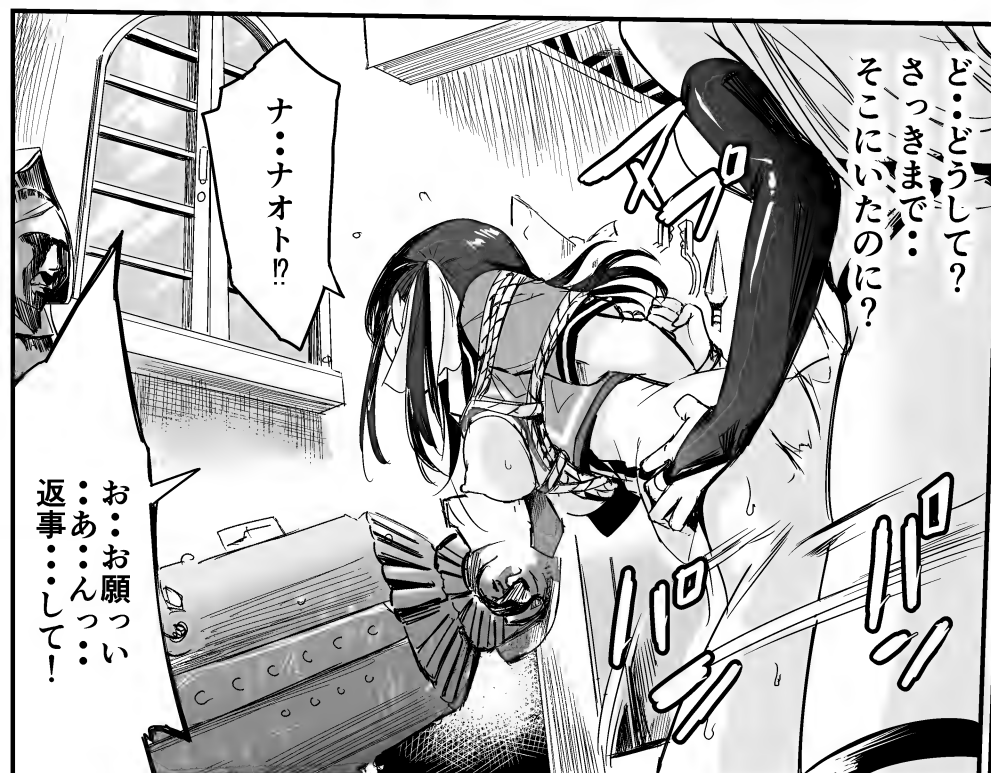
はぁ

う・・うぅ
ナオトをアシスト
するとか言って
おいて・・

私自身も守れ
ないなんて・・・・・
情けないよ

・・・このまま
じゃ・・・・私も・・
どんどんいやら
しく・・・ナオト
・・・ナオト・・・・

ナオトぉーー!

来てぇぇーーッ!!

フフフ・・・ここに
ナオト君呼んで
どうするの？

こんな姿見たら
また彼・・オナニー
始めちゃうよ？

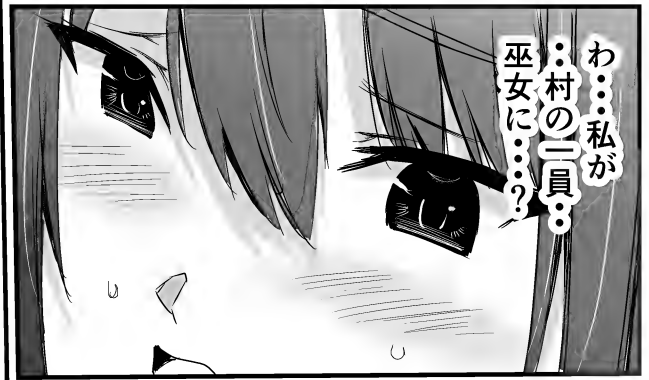
ナオト君は
寝取られることに
興奮を覚え始めて
いるのよ

ヒ・・・

それに・・・

本当は教祖様と
エッチしたくて
たまらないんでしょ？

だから村から
逃げなかった
・・そうでしょ？

ちっ違っ・・・
私は・・・っ

もしあなたが正式な巫女になれば・・・

艶がり村の最高の景色が分かるわよ？

彼氏に見せつけたあなたのエッチ・・・

完全にこの村の一員だったわよ？

ヌヌヌヌ

・・・あ

んうぅ

ズブッ

やっ…！？

ズププゥ

ズブブッ

うあっっ

ヌチュァァ

教祖様とのラブラブエッチを見せつけて・・・

・・・ッ

ナオト君を嫉妬させなさい・・・アヤミ！

はっ♥
あは♥
ニチ
あぁぁぁナオトが・・・ナオトが・・・嫉妬・・・？
私がエッチになるほど・・・
またあの眼差しを受けられる・・・？

ナオト君が今
どうなってるのか?
駆けつけるのも
忘れて・・・
あっ♥
淫紋とディルドの
同時快感で
自分から
夢中で腰振って・・・・
もしかして
目覚めちゃった?
緊縛レズプレイ
にも・・・

・・・・
い・・いいのぉ
ン♥
こ・・このディルド・・・教祖様のとそっくり・・・・癖になる・・・・
ハァ
ウズ
ウズ
ハッ
グイイ
もっとぉ
もっとぉ・・
ブブッ
・・・・
クス。
ズブ
ブブ
ニュ

ニチュ
ん
いいわぁーそう
その調子で私の
動きに合わせて？
はうん♡
あん
教祖様とのエッチを
思い出しながら
動きなさい
グリ
ズドズン
あう
はう
ペチャ

どう？

ぷぁ♥

自分に正直に動いたら気持ち良さが増すでしょう？

ツー

ゴクッ

ツー

教祖様とのエッチももっと自分からアプローチ出来れば・・

ナオト君はもっと嫉妬してくれるよ？

ん・あ

ギュム

ユサ

んっ・くぅ

ブヂュ

ズブ

クチュ

わ・・私から・・教祖様に？

そうよ

ハァ

チンチンビクビクさせながらあなたを必要としてたあの眼差し・・・
もっと沢山見たいでしょう?

・・・み・・・見たい・・・!
ゾワ・・・

さぁ
染まりなさい身も心も・・・
この村に!

ナオト君を喜ばせるためにっ!

んんあっ♡
イビッ…
ブルッ
イイグッ…♡
ビクッ
ビクッ
ビクッ
えひゃ…あ…
ブルッ
あ…あ…♡
ゾク
ゾク
ひゃあ

ア゛ッ アヒ♥

ピュルルル

ビクッ

ビクビク

ブシャアアア

さぁ・・ 戻りましょう?

フフ

ズルルル

我らが教祖様の もとへ・・・

ニチャア

ズズ

正式な巫女として この村の一員と なる儀式を受ける のよ・・・アヤミ

END

あとがき

どうもご無沙汰しています。
この度は艶がり村4を手に取っていただき
誠にありがとうございます。

今回は前回から結構日が開いての発表と
なりましたが、その間skebを通じ様々な
イラストを描かせていただいたおかげで、
描き方が大分進化したんじゃないかなって思います。
仕上げの細かさアップと、下書きをあまりせず
アタリ線だけでペン入れしたりしてます。

Aiが世間を賑わせていますが、そんな中でも
一からイラストを描かないと線も綺麗に
ならないし、陰影のイメージも育ちにくいと
思います。改めてリクエスト絵を依頼してくださった
方々、並びに応援してくれるフォロワーの皆様には
ありがとうです。
次回はやばいくらいエロいと思います。お楽しみに！

よかったらSNSフォローよろしくですー
pixiv id:29431100
twitter id:nao3675

trichy